



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 プレサンスコーポレーション
コード番号 3254 URL <http://www.pressance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長
四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日

(氏名) 山岸 忍
(氏名) 土井 豊

TEL 06-4793-1650

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	28,350	0.3	6,603	39.8	6,479	39.9	3,659	39.8
23年3月期第3四半期	28,268	11.9	4,724	0.6	4,632	△0.6	2,617	0.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 3,659百万円 (39.9%) 23年3月期第3四半期 2,616百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	243.34	—
23年3月期第3四半期	177.01	176.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	51,808	26,149	50.4
23年3月期	45,676	22,845	50.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 26,129百万円 23年3月期 22,845百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,505	7.1	6,529	19.1	6,230	17.0	3,414	14.8	227.06

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	15,039,400 株	23年3月期	15,039,400 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	— 株	23年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	15,039,400 株	23年3月期3Q	14,788,000 株

(注) 当社は、平成23年4月1日付で株式1株につき200株の株式分割を行っております。なお、前連結会計年度末及び前年同四半期連結累計期間に係る株式数は、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成23年4月1日付で株式1株につき200株の株式分割を行っております。なお、「1. (1)連結経営成績」の「23年3月期第3四半期の1株当たり四半期純利益」及び「2. 配当の状況」の「23年3月期年間配当金」は、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 受注の状況	10
(2) 販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により経済活動が停滞しておりましたが、徐々に持ち直しの動きが見られつつあります。しかし、円高の進行による企業収益の悪化、欧州の財政危機により、企業をとりまく経営環境は依然として不透明な状況が続いております。

当不動産業界におきましては、震災の影響による住宅取得マインドの低下が懸念されておりましたが、低金利政策、住宅ローン減税政策、住宅資金贈与非課税枠の拡大政策が継続して実施されていることから、適正価格で販売されているマンションの契約率については、堅調に推移いたしました。

このような状況におきまして、当社グループは、東京都及び沖縄県にてファミリーマンション事業を展開する等、営業エリアを拡大するとともに、収益の確保できる開発用地の取得に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高28,350百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益6,603百万円（同39.8%増）、経常利益6,479百万円（同39.9%増）、四半期純利益3,659百万円（同39.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(不動産販売事業)

不動産販売事業におきましては、ワンルームマンション「プレサンスシリーズ」のプレサンス名古屋STATIONビジュ（総戸数129戸）、ファミリーマンション「プレサンスロジェシリーズ」のプレサンスロジェ太秦天神川駅前（総戸数158戸）、プレサンスロジェ東京湊（総戸数33戸）、プレサンスロジェ宜野湾レーヴ（総戸数58戸）等の販売が順調に推移いたしました。その結果、ワンルームマンション売上高10,949百万円（709戸）、ファミリーマンション売上高10,311百万円（351戸）、シニア向けマンション売上高2,184百万円（79戸）、一棟販売売上高1,777百万円（164戸）、その他不動産販売事業収入1,995百万円（102戸）となり、不動産販売事業の合計売上高は27,218百万円（前年同期比0.3%増）、セグメント利益は6,354百万円（同41.3%増）となりました。

(その他)

その他の不動産賃貸事業等におきましては、自社保有物件が堅調に稼働いたしました。その結果、その他の売上高は1,132百万円（前年同期比0.7%増）、セグメント利益は553百万円（同4.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて6,474百万円増加し、49,030百万円（前期末比15.2%増）となりました。その主な要因は、積極的に開発用地を取得したことによりたな卸資産が1,245百万円増加し、マンション販売が順調に推移したことにより現金及び預金が5,337百万円増加したことあります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて342百万円減少し、2,778百万円（前期末比11.0%減）となりました。その主な要因は、賃貸不動産として開発しておりました神戸市垂水区の物件を保有目的の変更に伴い、建設仮勘定から仕掛販売用不動産に369百万円振替えたことあります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて2,828百万円増加し、25,659百万円（前期末比12.4%増）となりました。その主な要因は、ファミリーマンションの完成に伴う手形の振出しにより、支払手形が979百万円増加したこと、ファミリーマンションの販売活動が順調に進捗していることにより、前受金が788百万円増加したこと、開発用地の取得に伴い、金融機関からの借入金が562百万円増加したこと、四半期純利益の計上に伴い未払法人税等が663百万円増加したことあります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて3,303百万円増加し、26,149百万円（前期末比14.5%増）となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上等に伴い、利益剰余金が3,283百万円増加したことあります。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ5,327百万円増加し、17,066百万円(前期末比45.4%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。
(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は5,174百万円（前年同期は3,372百万円の増加）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が6,481百万円あったこと、ファミリーマンションの販売活動が順調に進捗し、前受金が788百万円増加したことにより資金が増加したのに対して、法人税等の支払により資金が2,164百万円減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は33百万円（前年同期は89百万円の減少）となりました。

これは主に、定期預金を10百万円預入れたこと、固定資産を25百万円購入したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は187百万円（前年同期は1,737百万円の増加）となりました。

これは主に、積極的に開発用地を取得したことに伴い、金融機関からの借入金が増加したことに対して、配当金の支払いにより資金が374百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主力事業であるマンション販売事業は、顧客への引渡しをもって売上が計上されるため、四半期ごとに当社グループの業績を見た場合、物件の引渡し時期に伴い業績に偏重が生じる傾向があります。なお、現時点においては平成23年5月9日発表の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(法人税等の計上基準)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,788,661	17,126,477
受取手形及び売掛金	32,496	30,601
販売用不動産	4,727,094	3,834,910
仕掛販売用不動産	25,365,560	27,457,672
原材料及び貯蔵品	29,055	74,422
その他	612,811	506,048
流動資産合計	42,555,679	49,030,132
固定資産		
有形固定資産		
賃貸不動産（純額）	2,077,515	2,012,766
建設仮勘定	368,249	—
その他（純額）	195,806	200,408
有形固定資産合計	2,641,570	2,213,174
無形固定資産	3,543	3,304
投資その他の資産	475,548	561,638
固定資産合計	3,120,663	2,778,117
資産合計	45,676,342	51,808,249
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	888,154	1,894,578
1年内返済予定の長期借入金	4,146,200	3,903,800
未払法人税等	1,118,896	1,782,339
前受金	1,319,666	2,108,633
賞与引当金	42,245	26,130
その他	1,110,950	908,609
流動負債合計	8,626,113	10,624,090
固定負債		
長期借入金	13,930,000	14,734,600
役員退職慰労引当金	274,285	300,535
固定負債合計	14,204,285	15,035,135
負債合計	22,830,398	25,659,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,228,814	1,228,814
資本剰余金	1,158,814	1,158,814
利益剰余金	20,457,752	23,741,465
株主資本合計	22,845,380	26,129,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	563	734
その他の包括利益累計額合計	563	734
新株予約権	—	19,196
純資産合計	22,845,943	26,149,024
負債純資産合計	45,676,342	51,808,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	28,268,774	28,350,702
売上原価	19,945,732	17,611,040
売上総利益	8,323,042	10,739,661
販売費及び一般管理費	3,598,250	4,136,634
営業利益	4,724,792	6,603,027
営業外収益		
受取利息	1,529	2,100
受取配当金	290	165
違約金収入	25,428	47,865
その他	19,514	23,520
営業外収益合計	46,762	73,652
営業外費用		
支払利息	139,160	197,646
営業外費用合計	139,160	197,646
経常利益	4,632,394	6,479,033
特別利益		
固定資産売却益	872	2,392
特別利益合計	872	2,392
特別損失		
固定資産売却損	83	—
固定資産除却損	2,728	—
投資有価証券売却損	22,535	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24,500	—
特別損失合計	49,848	—
税金等調整前四半期純利益	4,583,418	6,481,426
法人税等	1,965,767	2,821,728
少数株主損益調整前四半期純利益	2,617,651	3,659,698
四半期純利益	2,617,651	3,659,698

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,617,651	3,659,698
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,302	171
その他の包括利益合計	△1,302	171
四半期包括利益	2,616,348	3,659,869
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,616,348	3,659,869
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,583,418	6,481,426
減価償却費	118,373	84,036
株式報酬費用	—	19,196
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,718	△16,115
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	25,750	26,250
受取利息及び受取配当金	△1,820	△2,266
支払利息	139,160	197,646
固定資産売却損益 (△は益)	△788	△2,392
固定資産除却損	2,728	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	22,535	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24,500	—
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,424,491	△830,879
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,861,218	1,006,423
前受金の増減額 (△は減少)	189,613	788,966
未払消費税等の増減額 (△は減少)	416,479	△196,610
未収消費税等の増減額 (△は増加)	215,347	—
その他	△60,156	△32,201
小計	5,232,696	7,523,479
利息及び配当金の受取額	2,099	2,580
利息の支払額	△131,328	△187,337
法人税等の支払額	△1,730,922	△2,164,393
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,372,544	5,174,329
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,000	△10,000
固定資産の取得による支出	△43,691	△25,831
固定資産の売却による収入	3,624	4,077
投資有価証券の取得による支出	△1,009	△2,152
投資有価証券の売却による収入	1,489	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89,586	△33,905
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	8,131,000	7,405,000
長期借入金の返済による支出	△6,024,200	△6,842,800
配当金の支払額	△368,977	△374,808
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,737,822	187,391
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,020,781	5,327,816
現金及び現金同等物の期首残高	7,514,335	11,738,661
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,535,116	17,066,477

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	不動産販売事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	27,143,605	27,143,605	1,125,169	28,268,774
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	27,143,605	27,143,605	1,125,169	28,268,774
セグメント利益	4,495,580	4,495,580	530,339	5,025,919

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸・仲介・管理、損害保険代理業、マンションの内装工事等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,495,580
「その他」の区分の利益	530,339
全社費用 (注)	△301,126
四半期連結損益計算書の営業利益	4,724,792

(注) 全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	不動産販売事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	27,218,216	27,218,216	1,132,485	28,350,702
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	27,218,216	27,218,216	1,132,485	28,350,702
セグメント利益	6,354,193	6,354,193	553,399	6,907,593

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸・仲介・管理、損害保険代理業、マンションの内装工事等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	6,354,193
「その他」の区分の利益	553,399
全社費用（注）	△304,565
四半期連結損益計算書の営業利益	6,603,027

（注）全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注の状況

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

セグメント の名称	区分	契約高				契約残高			
		数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (千円)	前年 同期比 (%)	数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (千円)	前年 同期比 (%)
不動産 販売事業	ワンルーム マンション	621	110.9	9,739,877	111.1	111	82.2	1,624,600	75.5
	ファミリー マンション	367	194.2	11,011,644	175.7	361	313.9	10,678,410	250.9
	シニア向け マンション	147	89.1	4,348,611	83.2	59	109.3	1,611,874	95.1
	一棟販売	416	228.6	4,556,817	233.0	228	77.8	2,628,709	79.8
	その他 不動産	62	108.8	2,049,869	127.3	7	175.0	592,104	591.6
報告セグメント計		1,613	139.9	31,706,820	133.1	766	127.5	17,135,697	149.0

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

セグメント の名称	区分	契約高				契約残高			
		数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (千円)	前年 同期比 (%)	数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (千円)	前年 同期比 (%)
不動産 販売事業	ワンルーム マンション	613	98.7	9,710,385	99.7	132	118.9	2,192,285	134.9
	ファミリー マンション	794	216.3	22,402,861	203.4	904	250.4	25,907,555	242.6
	シニア向け マンション	71	48.3	1,869,563	43.0	20	33.9	581,394	36.1
	一棟販売	137	32.9	1,604,817	35.2	209	91.7	2,573,285	97.9
	その他 不動産	100	161.3	1,956,861	95.5	17	242.9	903,023	152.5
報告セグメント計		1,715	106.3	37,544,488	118.4	1,282	167.4	32,157,543	187.7

- (注) 1. 本表におきまして「受注高」は「契約高」と読み替えております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 上記の金額には、追加工事の金額も含まれております。
 4. 一棟販売とは、マンション一棟もしくはその一部をマンション販売業者に卸売する方法であります。
 5. 「その他不動産」の数量には、中古物件等を含めております。
 6. 前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の「その他不動産」の契約残高の内、540,895千円（3戸）は分譲マンション内の商業用店舗に関するものであります。
 7. 報告セグメントに含まれない事業セグメントについては、該当事項はありません。

(2) 販売の状況

セグメント の名称	区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)				当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)			
		数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (千円)	前年 同期比 (%)	数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (千円)	前年 同期比 (%)
不動産 販売事業	ワンルーム マンション	746	98.0	11,707,338	94.2	709	95.0	10,949,300	93.5
	ファミリー マンション	180	236.8	6,562,705	314.5	351	195.0	10,311,066	157.1
	シニア向け マンション	117	70.1	3,610,737	67.3	79	67.5	2,184,990	60.5
	一棟販売	328	157.7	3,507,257	140.3	164	50.0	1,777,355	50.7
	その他 不動産	59	90.8	1,755,567	88.7	102	172.9	1,995,503	113.7
報告セグメント計		1,430	112.0	27,143,605	111.4	1,405	98.3	27,218,216	100.3
その他		—	—	1,125,169	125.8	—	—	1,132,485	100.7
合計		1,430	112.0	28,268,774	111.9	1,405	98.3	28,350,702	100.3

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 上記の金額には、追加工事の金額も含まれております。
 3. 一棟販売とは、マンション一棟もしくはその一部をマンション販売業者に卸売する方法であります。
 4. 「不動産販売事業」における「その他不動産」の数量には、中古物件等を含めております。